

産業建設委員会

令和2年10月12日(月)

午前10時～時分

第4委員会室

【委員】 串崎委員長、飛野副委員長

川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【委員外】

【議長団】

【事務局】 近重書記

議題

1 産業建設委員会の取組課題について

2 その他

浜田漁港エリア周辺の活性化への執行部の取組状況や方針について

- 1 テーマ 浜田漁港周辺エリアの活性化に向けた取組内容確認
- 2 目的 当委員会では、周辺エリアの活性化について取り組んでいる。山陰浜田港公設市場整備や高度衛生管理型荷捌き所が整備され活性化が図られる中、これまで個人一般質問や産業建設委員会で提案された取組について確認と意見交換を行う。
- 3 確認内容
 - (1) 産業経済部対象

質問	回答 (R020807)	答弁者
産業経済部内への漁港エリア周辺活性化へむけたプロジェクトチームの設立する必要性の認識について	<p>【産業経済部の対応】 これまで周辺エリア活性化を検討する中で、部内各課長が必要に応じて検討し、検討委員会に出席して協議してきた。推進に向けた実施体制は、産業経済部の各課が中心となって推進していく覚悟である。</p> <p>【全庁的なプロジェクトチーム立ち上げ】 部長の権限ではできないので市長と相談し立ち上げを検討する。</p>	産業経済部長

質問	回答（R020807）	答弁者
農産物を扱う産直市等の誘致について	<p>【山陰浜田港公設市場内での設置】</p> <p>旧お魚センター以上の量を取扱には協議が必要。現時点ではこれまでと同程度との回答がされたが、それでは足りないのと伝えている。今後JAにも営業活動をすると思う。そこでは農林振興課長にも間に入って物販等の協力をいただきたい。計画書には三島ファームとの連携も取るとあったので三島ファームの農産品も扱えるのではと思っている。施設の中では農産品を取り扱っていききたい。</p>	水産振興課副参事
	<p>【山陰浜田港公設市場周辺への出店】</p> <p>漁港エリア活性化計画策定の際に、改めて出店について話をした。</p> <p>JAの認識では、産直そのものの事業が頭打ちとの認識。1点目は、市内スーパーの産直コーナー充実。2点目は、生産者の方の持ち込み方の多様化。これまで産直市はJAのみであったが地元スーパーでも実施されはじめたためスーパーに直接持ち込み増えている。農産物の調達そのものも頭打ち状態であり、現時</p>	農林振興課長

	<p>点で新たな産直店を漁港エリアに持って直営するのは難しいと判断されている。</p> <p>市も、仮に建物を準備し、出荷の際の手数料に市の支援を入れる方法も提案した。現時点ではJ A直営は厳しい状況。拡大するのであれば立地条件から考えて以前から黒川店舗の拡大があるが、現実的に新たな店舗は難しい。</p>	
	<p>【市が主体となる取組】</p> <p>B U Y浜田運動で地産地消、地元農産品や店舗で購入の取組を実施している。当初周辺での昼市を計画はしていたが、この状況で進んでいない。</p>	商工労働課長
	<p>【トラック市の開催】</p> <p>J Aもスポット的な形での協力は考えていくとの話をもらっている。現に広島の団地でトラック市を開いている実績もあるので、そういった形での協力はお願いできると思う。</p>	水産振興課副参事

質問	回答 (R020807)	答弁者
水産事業立地の可能性を探ることを目的として、地下海水を活用した陸上養殖の共同研究をマルハニチロ株式会社との協定締結後の進捗状況	【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により見通しが立てられない状況である。	水産振興課長

質問	回答 (R020807)	答弁者
<p>イベントスペースの整備と開催について (例 フリーマーケットなど誰でも出店できる仕組み、イベントスペース、神楽上演用ステージ等)</p>	<p>【山陰浜田港公設市場内】 山陰浜田港公設市場の 1 階の商業棟に多目的利用エリアを設置しイベントや体験、情報発信などを通じて浜田の魚を知ってもらうエリア設定をしている。 指定管理者からは常設イベントコーナーの設置は困難とのこと。定期的にイベントをする広場を状況に応じて作るということで対応すると考えている。</p>	水産振興課副参事
	<p>【山陰浜田港公設市場周辺】 以前のお魚センターでも対応したが、中と周辺にイベントができるテントを隣接したいと考えている。具体的には指定管理者と一緒に考えたい。</p>	水産振興課副参事
	<p>【イベントの増加の意向】 新しくなったことを示す意味でも新しいイベントを考えるべきだと思う。お魚を多く売るイベントをされに考える必要がある。</p>	水産振興課副参事

質問	回答（R020807）	答弁者
山陰浜田港公設市場周辺にお客さんが来る方法	<p>【進捗状況】</p> <p>観光に特化するより、市民の方が集う場所として整備すること。市民が行かなければ観光客もこない。旧お魚センターを初め、漁港エリアにくる県外者の期待を裏切らない、ここに来たら面白い施設であり港とすることが必要。</p> <p>期待の中には市民の期待も裏切らないことが重要となる。最初の話に戻るが観光客だけではなくて市民の方が集うエリアになって市民の方に愛されそこに観光客が集まる場所になってほしい。</p>	観光交流課長

(2) 地域政策部対象

項目	回答	担当課
山陰浜田港公設市場へのデマンドタクシーや週末買い物バス等の交通インフラ整備	<p>【バスの乗り入れについて】</p> <p>昼間の時間帯に山陰浜田港公設市場への乗り入れコースの設定を考えている。朝夕の時間帯は除く。</p>	まちづくり推進課
関係人口と周辺エリアの考え方	<p>定住者に浜田市の魅力をPRする際、魚、農産品、米がおいしいことは大きなPRポイントである。定住者の中には第一次産業を希望して移住検討する人もいる。</p> <p>エリア周辺も広島方面から来ることで、関係人口につながる要素となる。また、浜田の魚を広島で購入したことで浜田に観光につながることも交流人口から関係人口になったと捉えている。つながりが深まり、広がれば良い</p>	定住関係人口 推進課長
リピータのための施設の活用	<p>【水産関係者との協議】</p> <p>現時点では協議していない</p>	定住関係人口 推進課長